



ローヤルグリース

No.168

発行 ローヤル油機株式会社 2008年4月13日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HP アドレス <http://www.loyal-grease.jp/>

【フォンブリン AR-555】-ソルベイトレックス-

よくある質問『350℃で使えるグリースは、ありませんか』

答え『世界中どこを探してもありません。250℃が限界です』

1. 限界：250℃で使用できるのは、フッ素系グリースだけ
2. 用途：乾燥炉・コルゲートマシン等の高温用ベアリング
3. 使用温度範囲：-40～250℃
4. 荷姿：ジャバラ400g×1本、6本、20kg缶



400g ジャバラ

「高崎物語」10

午前の授業が終わり、学生食堂で遅めの昼食をとっていた。桑畑に囲まれた学園の周辺には、食堂と思しきものは何もなかった。当然、昼時には食堂は学生であふれかえるのでそれを避けていた。

食事を終え出がらしのお茶を啜っていると、背中を軽くたたく人がいる。振り向くと、新聞部で一緒だった一級上の先輩常山さんだった。

「佐藤、ダンスやらないか」

貴公子然とした端正な顔が、優しく説得するように話してきた。

「ええっ、ダンスですか」

質実剛健、自称硬派だと思っていたわたしには、青天の霹靂と言つてよかった。

「わたしも初めて習うのだ、佐藤一緒に付き合え」

「はい、分かりました」

新聞部にいたときから、この先輩と友達になれたらいいなあと思っていたので、わたしは二つ返事でOKした。

『常山先輩との出会い』

常山先輩との出会いが、それからの学生時代そして社会人になつてからも多くの教えと恩恵をいただくことになるのは、そのとき思つてもいなかった。

◇ 常山さんは、東北大学の受験に失敗して滑り止めに受けていたこの大学に入学してきた。国立の一期と二期の間に受験日があった高崎経済大学は、その大半の学生が同じ過去をもっていた。わたしと同じ入学で北海道出身の佐野も、北大の受験に失敗した組だった。

常山さんには、いろいろな場面で社会の仕組みや判断の仕方を教えてもらった。佐野とは、世界経済のあり方や経済学について激論を戦わしたこともあった。

今思うと、ダンスを習ったのもそういうもののひとつだった。ダンス教室は、個人の家を改造したもので、北高崎駅の近くにあり自転車で十五分ほどだった。「スロースロー、クイッククイック」

☆ あとがき ☆



4月8日、日の出ヶ岡（忠魂碑）公園のさくらは七分咲きでした。

40年前のこの日、わたしは自分で作成した定款と必要書類をもって法務局の前に立った。お客様ゼロ、営業経験ゼロ、潤滑油の知識ほぼゼロ。そんな状態で、ローヤル油機株式会社は日本一を目指して設立されました。

題字横イラスト提供：web サイト「赤ずきんちゃんの散・歩・道」